

中之江川第 11、12 排水区 大規模雨水処理施設整備事業計画（大垣市）

（様式 1）

項 目	内 容 ・ 施 策 等
選定理由	中之江川第11、12排水区は、大垣市の市街地南部に位置し、1級河川中之江川の流域内で、南北に縦断する国道258号沿いには商業サービス施設が立地しており、近年宅地化が進行している地区である。 本排水区は、近年の局地的な集中豪雨等により浸水被害が頻発しており、平成16年台風23号による降雨では、広範囲で床上浸水を含む浸水被害が発生したことから、早急な浸水対策を計画的に実施する必要性がある。
整備目標	① 本計画における対象降雨 ・ 本計画における対象降雨：54mm/h、231mm/日 ・ 目標とする理由：平成 16 年台風 23 号による降雨：54mm/h、231mm/日 ・ ハード整備による整備水準の目標：54mm/h ②目標設定 - i)生命の保護の観点：当該排水区に存在する高齢者・障害者等要配慮者関連施設 19 箇所の浸水被害を解消する。 - ii)都市機能の確保の観点：交通の支障となる道路冠水を解消する。 - iii)個人財産の保護の観点：家屋の浸水被害を解消する。 - iv)その他：特になし

項 目	内 容 ・ 施 策 等			
内水ハザードマップ策定状況	・ 有 (平成 年 月 日策定済み) ・ 策定予定 (令和10年3月末策定予定)			
主な事業内容	公助	ハード対策	下水道管理者	・ 雨水ポンプ場の整備 排水能力 312m3/分
			下水道管理者以外	
		ソフト対策	下水道管理者	・ 透水性舗装に対する補助制度の継続実施
			下水道管理者以外	・ 市内消防団による、水防演習の継続実施
	自助	ハード対策		
		ソフト対策		・ メールや LINE の他、各種 SNS を通じた避難情報発信の継続実施 ・ 防災士養成講座、出前講座等の継続実施

年度計画（百万円）

名称	令和7年度	令和8年度	計
禾森ポンプ場	1,000	350	1,350
計	1,000	350	1,350

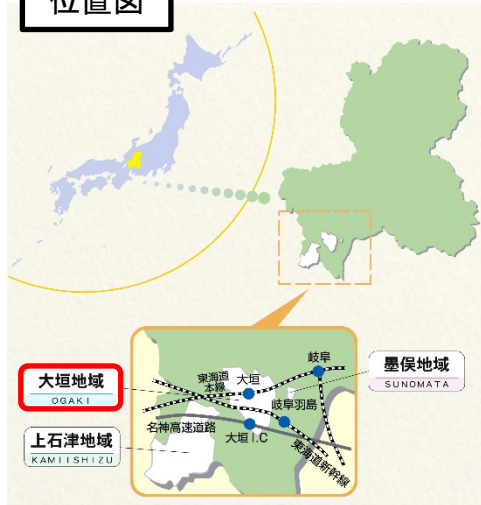
項 目	内 容 ・ 施 策 等
整備効果	< 事業評価の内容 > 浸水被害の軽減便益：824 百万円/年が削減される。 B／C：3.5
放流先河川との調整状況	当該排水区の排水は、1 級河川中之江川に放流することから、放流先河川管理者の流域整備計画で許容放水量に関する整合を図っている。
その他	

なかのえ 中之江川第11、12排水区 大規模雨水処理施設整備事業（大垣市）

○中之江川第11、12排水区では、平成16年台風23号（時間最大降雨量54mm、日降雨量231mm）により、流域内の広範囲で浸水被害が発生。

○雨水ポンプ場の整備を行い、同等の降雨（時間最大降雨量54mm）に対して浸水被害の解消を図る。

位置図



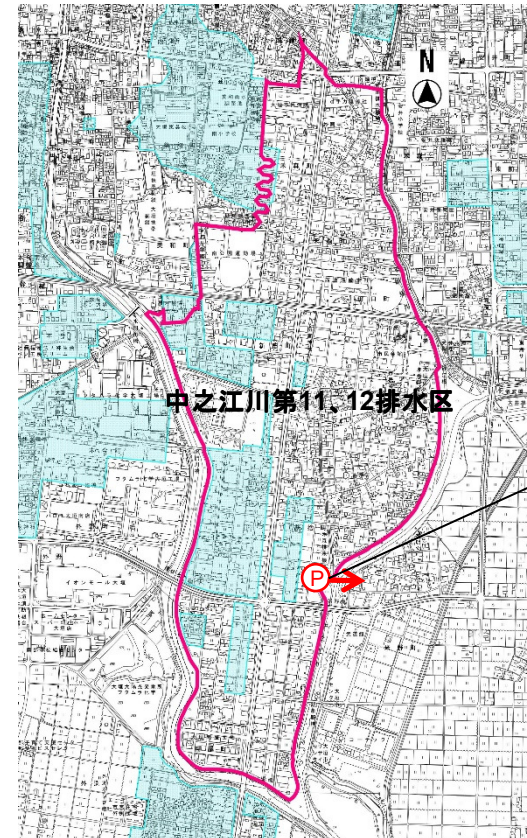
平成16年台風23号 による被害状況



時間最大降雨量: 54mm
日降雨量: 231mm

事業概要

- 事業内容 : 雨水ポンプ場整備 1箇所
- 全体事業費 : 約14億円 ※工事諸費等を含む
- 事業期間 : 令和7年度～令和8年度



平成16年台風23号
による浸水範囲

事業の効果

平成16年台風23号と同規模の降雨（54mm/h、231mm/日）に対して、浸水被害を解消。

<平成16年台風23号の
被害軽減効果>

流域内の床上浸水戸数
3戸 → 0戸
流域内の床下浸水戸数
46戸 → 0戸

B/C=3.5

整備効果

